

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [兵庫県立芦屋国際中等教育学校] 担当教諭名 [森口 直弥・新海 美幸] (3年A組 39名)
 交流相手国 [台湾]
 海外学校名 [Guei-ren Junior High School] 担当教諭名 [Snow Cheng]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	学級活動	国際理解	5
	総合的な学習の時間	国際理解	10

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	平和
絵に込めたメッセージ	戦争を考えさせるものと、友好の証になるもの。平和(鳥で象徴)へとつづく道。同じ橋から眺める明るい未来(日の出)。お互いの国を象徴するもの。これらを描くことで、良い時、悪い時、さまざまな過去を経て、お互いを尊重しながら、平和な世界へ向かおうという願い。
 	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちが学校、文化、日本について調べ、テレビ会議を通して共有することができた。 ・ビデオ撮影やポスター作りなど、生徒のそれぞれ得意な分野を発揮し、考え、相手に伝わりやすいものを作ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムを生徒が活用できるものにするにはどうすればよいのか、を考える必要がある。 ・準備などの時間が足りないことが多く、どのように効率よく進めるか、生徒同士のマッチングをどのように行うかなど、相手校の担当教員と相談しておくべきだった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
距離的には近いけれど、あまり知らない遠い国というイメージを持っていたが、違う言語で違う文化や習慣を持った人たちと、カード交換やテレビ会議を通して、以前より少し近い国に感じるようになった。また、相手の準備やカードなどクオリティが高かったためもっと自分たちが頑張るべきだったとの反省もあった。	以前よりさらに世界に対して、また、台湾について、特に文化や歴史など興味を深めることが出来た。台湾の学校についても、制服や教員生徒の関係などテレビ会議を通して、さまざまなことを感じるとることが出来た。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> 委員を決め、共有したいことの大枠を決定。 クラス紹介ビデオの作成。 自己紹介カードの作成、郵送。 	遠い国ではなく身近な国と交流することになり、どんな交流になるか楽しみという期待感を持ちながら、紹介カード、ビデオを作り上げた。	学活1 総合2
テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> テーマの摺合せ(教員間) 第1回テレビ会議(自国を知ってもらう) テーマについての調べ学習 	自分の国や学校について知ってもらうため、グループで学習し、テレビ会議で初めて相手校の生徒たちを見て話したが少し緊張も見られた。	学活1 総合2
構図決定	11月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回テレビ会議(テーマ学習) 構図を考える。 第3回テレビ会議(絵のデザインについて代表者同士で話し合い) 	どのようなものを絵にとりこんでいくか、また、その絵にどのようなメッセージを込めるか、意見を出すのに苦労している様子だった。	学活1 総合3 放課後
壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 下絵を描く 色つけ作業 特別支援学校の生徒との共同制作 クリスマスカードの交換 	デッサンを正確に拡大し、間違わないように色付けを行った。自分あてのクリスマスカード、プレゼントに驚き、自分たちの方がもっと準備をするべきだったと後悔も見られた。	学活1 総合2 放課後
鑑賞・振り返り	3月	<ul style="list-style-type: none"> 完成した絵の披露 絵についての説明、感想を含めたサンクスメッセージビデオを撮影し、相手校に送る。 	自分たちが半分描いた絵がどのようになって完成し戻ってくるのかワクワクしながら絵の披露を待った。	学活1 総合1

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	相手国に自国の文化を発信することが出来た。
異文化の理解	A	4	相手国のことを教えてもらい理解を深めることが出来た。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	ビデオ会議の時に積極的な生徒と一部そうでない生徒がいた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	情報収集する時間も限られていたが、発信する時間ももっと限られていたため、一人一人の発言時間が短かった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	ビデオやプレゼント、自己紹介カードを通して関係を深めることが出来た。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	協力して一枚の大きな絵を完成させるため自分たちで工夫して作業を分担することが出来た。
学習を追究する意欲	B	3	学習に直接結びつけるところまで発展できなかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	それぞれの内容に意味を込めレイアウトを考え、絵を見た人に込めたメッセージを受け取ってもらえるように努力した。
作品を鑑賞する力	B	4	完成した絵をしっかり見て、相手からのメッセージを読み取ろうと努めた。相手校と一緒に鑑賞する時間を持つべきだった。